

当院で治療された患者様の声

【長谷川信彦様】

※患者様の許可を得て、原本・原文のまま掲載いたします。転写禁

最初に左の「肩甲骨」脇の痛みと左腕の痺れを意識したのは、1月末の一番寒い頃だったと思います。寒さによる首筋の冷えと力仕事からくる筋肉痛だろう…なんて思っていました。日が経つにつれ自動車の運転中に感じる背中や首筋の痛みや、腕が痺れてどうにもやり場の無い不快感がますます強くなり、髭そりの時にも顔を上にあげる動作が辛くなってきました。「この痛みは、普通じゃない。」と思いつつも、医者には行かずに我慢していました。

3月の後半になると所属する野球チームの練習が始まり、練習中に背中や首筋の痛みが強くなってくると、横になって休みながら参加していました。とりわけ、練習後の車の運転が一番辛かったのですが、ある日の帰り道でチームメイトにそんな症状を話すと、紹介してくれたのが、緑ヶ丘カイロプラクティックセンターだったのです。

初日に、頸椎ヘルニアと診断された時はショックでしたが、先生の「必ず、治ります！」のひと言を信じるしかないという覚悟を決め、しばらく通院してみることにしました。初めの数回は、特に症状が軽くなったとは実感できませんでしたが、治療の後にベッドで横になっているのが心地良くて、「野球を続けながら、痛みや痺れがひどくならなければ、まあいいか…」なんて、気長に考えていました。

ところが、5回目の治療の後だったと思います。非常にリラックスした気分を感じて帰路につきましたが、来る時までは痛くて意識して動かさないと左手で車のハンドルを握れなかったのに、無意識のうちに左手でハンドルを握って運転していることに気が付きました。

「あっ、やっぱり痛みが徐々に薄らいでいる。」と実感し、「絶対に完治できる！」と確信した瞬間です。

それからは、体に疲労が残っている時を除いては、治療を重ねるごとに、痛みや痺れが薄れていくことを実感できるようになり、今では以前のように、長時間運転しても背中や首筋が痛くなるようなことはありません。

平成17年10月19日

長谷川 信彦

緑ヶ丘カイロプラクティックセンター